

# はじめに

留萌市は、平成 12 年度より実に 16 年という長期間に渡り、市民の皆様のご理解とご協力のもと、財政健全化に向けた取り組みを進め、昨年度、ついに危機的な状況を脱することができました。

しかし、この間にも、人口減少は進み、さらには観光や農林水産業をはじめとしたグローバル化による地域間競争の激化、また毎年のように各地で大きな被害をもたらす自然災害への備えなど、留萌市を取り巻く経済・社会情勢は急激な変化を遂げています。

こうした情勢の変化に対応するため、留萌市では、働く場の創出や健康をキーワードとした留萌ブランドの発信、また、若者が希望する結婚や出産・子育てができるまちづくりなど、人口減少を抑制する地方創生の取組を戦略的に進めるとともに、全ての市民がいきがいを持って様々な舞台で輝き、さらには、次代を担う子どもたちの未来を見据え、明るく希望に満ちた次の 10 年間の留萌市をつくるため、平成 29(2017)年度から平成 38(2026)年度を計画期間とする第 6 次留萌市総合計画を策定しました。

計画の策定にあたりましては、公募による 9 名の市民会議委員による精力的かつ活発なご議論による市民会議案の策定をはじめ、様々な場面で、多くの市民や各団体の皆様から貴重なご意見・ご提言を頂きましたことに、改めまして、深く感謝申し上げます。

留萌市は、留萌の隆盛の礎を築く港の修築に私財を投じ、生涯をささげた五十嵐億太郎翁をはじめ、古くから市民有志が産業・経済・交通などの繁栄の礎を築いた「市民が主人公」のまちです。

これからの 10 年間では、人口が減少し、超少子高齢社会の進展が避けられないという状況の中で、市民が郷土の海や山などの自然を愛し、また風土・文化に誇りを持ちながら安心して暮らし、次の時代も持続的に発展するまちづくりに向けた挑戦をはじめなければなりません。

この実現のためには、留萌市の歴史が育んだこの「市民が主人公」という姿勢を大切にし、市民一人ひとりが地域の絆を強め、日々の暮らしやまちの様々な課題の解決に向け、自分のできる役割を主体的に果たすことが鍵となり、協働のまちづくりが肝要です。

私も市民の皆様と積極的に対話を重ね、ご理解をいただきながら、次の世代にしっかりと留萌市を残していくため、第 6 次留萌市総合計画の基本テーマ

## 「みんなでつくる まち・ひと・きぼう 次の時代へ続く留萌」

の実現に向けて全力を尽くしてまいります。